

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍にあり、地域の方々と日常的な交流が行えていない。地域の方々に施設の存在が周知されていない。	より多くの地域の方々に施設の存在を知ってもらう。 地域の一員としての関係性を築く。	地域行事の参加(コロナ禍の中で可能な範囲での参加)。散歩の機会を増やす。 近隣の公園に出掛けたり、近隣の小中学校の下校時間に散歩をしたり等、地域の方々と交流作りを行う。	12ヶ月
2	23	コロナ禍により外出に制限があったり、ボランティアの方々の来所がなくなったりして、利用者の気分転換の機会も減り、生活への意欲の低下が感じられる。	利用者一人ひとりがそれぞれ楽しみや役割を持って過ごせる。	利用者一人ひとりの想いや意向を汲み取り、職員間でより細やかに共有する。 実現できるよう体制作りを行うとともに家族にも協力を仰ぐ。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。